

輝け 田底っ子

第 15 号

文責：校長 益永 一幸

令和4年度 田底小 チャレンジ目標

- ①最後までがんばろう ②上手に伝え合おう ③自他を大切にしよう



にこにこたいむ（毎月1回朝自習でソーシャルスキルトレーニング）

人との関わり方がうまくコントロールできなく、トラブルになることは学校生活の中でよくあります。子どもたちはそのような経験を通して、うまく人間関係をつくる方法を学んでいくものですが、具体的なコントロールの仕方を学びとして学校教育の中で身につけさせることも必要な時代になってきています。特にコロナ禍では、その多様な仲間と関わる経験や環境が難しくなっています。

そこで、本校では朝自習の15分間を活用し、毎月1回「SST（ソーシャルスキルトレーニング）」を行います。6月10日（金）はその第1回目でした。その様子をまとめてみました。

この活動を通して、互いの気持ちに寄り添え合え、前向きに考えることができる、親和的な学級・学校になることをねらっています。トラブルになりそうな時にも、この学びが生かされることを期待しています。



	したこと	子どもたちの様子・学んだこと
1年	質問じゃんけん	じゃんけんをして勝った方が負けた方に「好きなものは何ですか。」と質問する活動。普段あまり話さない友達とも話げできていました。
2年	おはよう！昨日ね..	互いに挨拶して昨日の出来事を話す活動。大きな声で挨拶をする気持ちよさ、友達に話を聞いてもらえるうれしさを体感したようです。
3年	うれしい言葉大作戦	帰りの会で書きためた「うれしい言葉」の中から賞を選び、それを振り返る活動。言葉や行動と気持ちのつながり振り返る子が増えたようです。
4年	じゃんけんゲーム	じゃんけんをして負けた方が「つよいね」と言い、勝った方は「ありがとう」と言い合う活動。ありがとうという言葉の大切さを体感したようです。
5年	そうだねゲーム	相手の話を全て肯定的に反応する活動。聞いてもらえた喜び、話してよかったという満足感を味わえます。授業でもいい反応をする児童が増えています。
ひまわり	かぶってナイス！	「赤いくだものといえば」というお題に、みんなの答えが同じになるようにする活動。相手の考えを想像し心を合わせる心地よさを味わいました。
6年	ありがとう	「ありがとう」を言う場面づくりを班で出し合う活動。習慣になっていることや当たり前前の小さなことにも感謝の気持ちで「ありがとう」と伝え合いたい。

次号は「音読名人になろう」、「外国語専科から見た田底小」を予定しています。